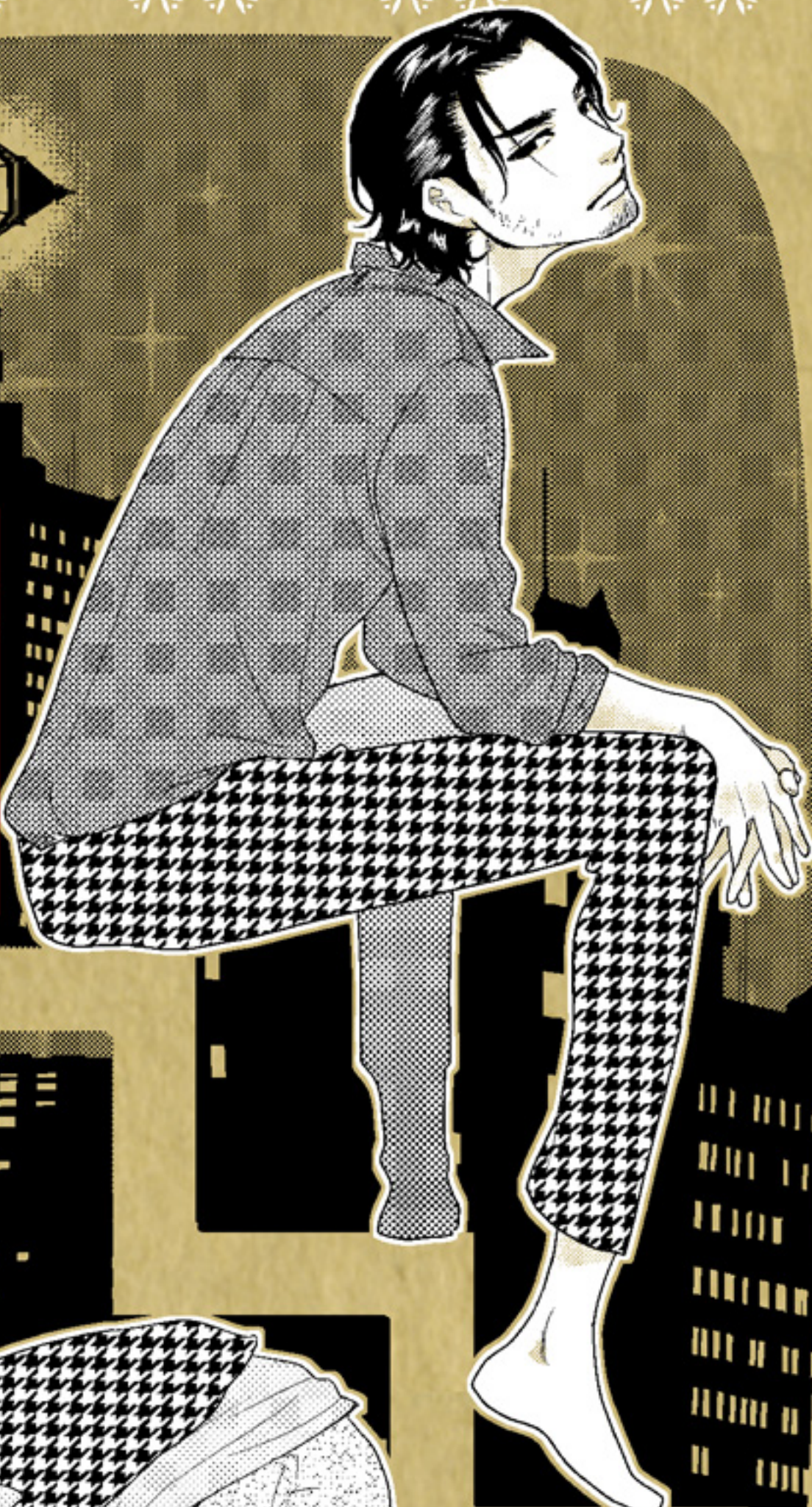


あ
ら
ま
ま
の
2
人

阿仁谷
Presented by Yuiji Aniya
エイジ



阿
仁
谷
ユ
イ
ジ
パ
ラ
レ
ル
作
品
集

C^①NTENTS

はるのこい/ライトノベル from 「はるのこい」 (シトロンデジタルコミックス 『刺青の男』)	005
新月の夜 from 「はるのこい」 (シトロンデジタルコミックス 『刺青の男』)	080
ぬるま湯の2人 EP：ZERO～FIVE from 「ミスターコンビニエンス」 (シトロンデジタルコミックス 『ミスターコンビニエンス』)	085
ぬるま湯のふたり from 「ミスターコンビニエンス」 (シトロンデジタルコミックス 『ミスターコンビニエンス』)	101
ぬるま湯の2人 ALL LAST from 「ミスターコンビニエンス」 (シトロンデジタルコミックス 『ミスターコンビニエンス』)	127

<初出>

SPINZ 2007-2011 同人誌 2012年4月掲載



CITRON DIGITAL COMICS

Sillikat editorial department

本書は、
コミックス「ミスターコンビニエンス」収録作品、
コミックス「刺青の男」収録作品の平行作品集です。
あわせて下記コミックスもお楽しみ下さい♥



シトロンデジタルコミックス
『ミスターコンビニエンス』



シトロンデジタルコミックス
『刺青の男』

存在するはずのない人間に、恋をした。

【第1夜】

ある春の夜。

寝苦しくて目が覚めると僕の部屋に春野がいた。

いるわけがないのに。

だって春野は、昨日から彼女と旅行に出掛けるんだと、それはもう呆れる程にしつこく僕らに自慢していた。傍目でみてたらうんざりする程、浮かれていた。

だから、今、こんなところに春野がいるわけがないのに。

ていうか夜中だし。非常識だし。お前、僕の家なんて知らないだろう、春野。

でも、居る。僕は目を擦ったり頬をつねってみたりなんて古典的な目覚ましはさすがにやってないけど、瞬き数回くらいはしたかもしれない。とりあえず迷惑だったので、何はともあれ出て行ってもらおうと思っただけで目の前の春野に声をかけた。

「春野何してんの……」

返事はない。ただの屍のようだ。

「春野ちよー、何でこんなところにいるわけ、お前」

やはり返事はない。春野の目は遠いところと近いところの間に据えられてい

て、っていかどこ見てるんだよお前は。

いらついで手を伸ばす僕。その手を腹に抱え込み、背中側へと突き抜けさせる春野。

「は……？」

アンビリバーボー……。

春野の身体を通過した僕の腕が背中の方こうで拳を開閉させている。その筋肉の動きだけが、たったひとつの僕の感覚として。

夜中に突如僕の部屋に現れた春野は、ただの屍ならぬただの幽体だった。

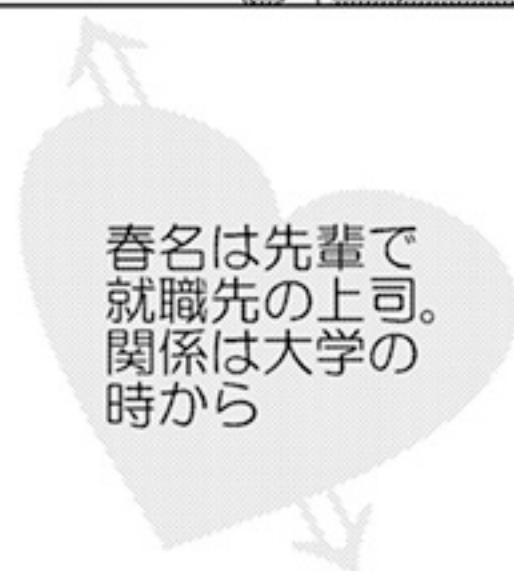
「え？ 春野、死、え？ 春野!？」

僕の脳裏に駆け巡る可能性。

- 1、旅行の途中で事故に遭い、死亡。
 - 2、旅行の途中で彼女に殺され、死亡。
 - 3、美人3姉妹湯煙なんかかかるとか、とにかく死亡。
- 背中から血の気が引いていく。冷たい。僕と一緒に屍になりかけたその時、間の抜けた着メロが部屋に鳴り響いた。



**PARALLEL
CONVENIENCE**





俺には



春名さんという
彼女がいる。

そろそろ
アキ迎えに
行かなやん



春ちゃん
行ってー！

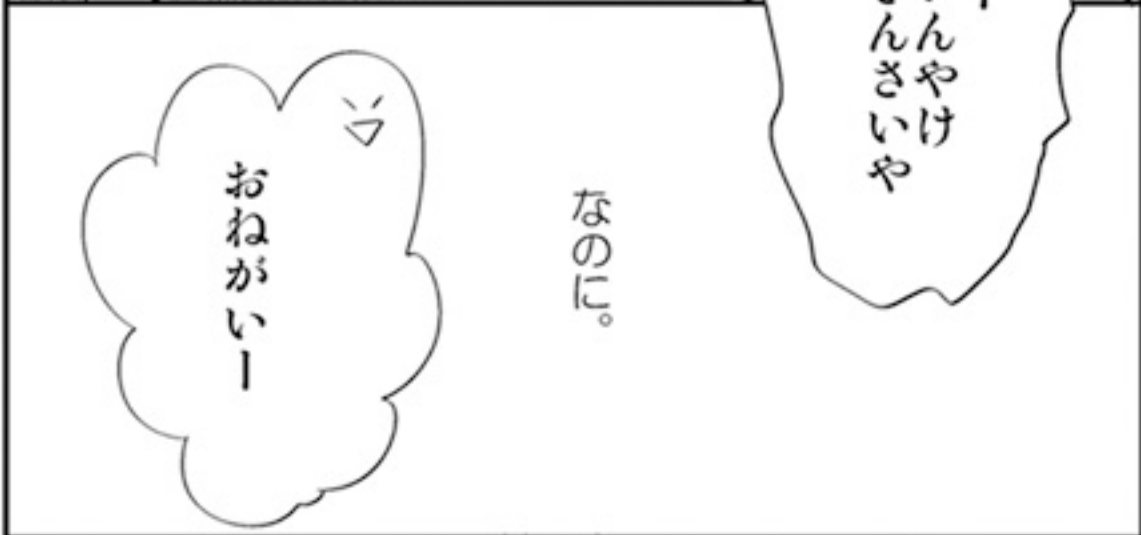
なま
さん。

南原には
アキちゃんって
彼女が。

もー
若いんやけ
動きんさいや

なの。

おねがいー



あつ
春ちゃん
春ちゃん

ついでに
ごまだれに
買って来て！

ぬ

る

ま

湯

の

2

人

EP:
ZERO